

2024年4月5日
株式会社三菱UFJ銀行

インフロニア・ホールディングス株式会社と「ESG 経営支援ローン」を成約

株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 はんざわ じゅんいち 半沢 淳一、以下「当行」）は、お客さまの ESG（環境・社会・ガバナンス）の取り組みを支援・サポートする ESG 評価型融資商品である「ESG 経営支援ローン（以下、「本商品」）」の取り扱いを行っております。

本商品の ESG 評価は、株式会社三菱UFJフィナンシャルグループの一員である三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社（以下、「MURC」）をサービス提供者、グリーンファイナンスの認証実績のある株式会社日本格付研究所（以下、「JCR」）をサポート企業としております。MURCがESGに関する独自のチェック項目に基づき、お客様の ESG に対する取り組みを評価、スコアリングを付与するとともに、JCRとの連携で客観的な評価を実施し、課題等もお客様にフィードバックします。本商品は、評価結果が一定以上の企業を対象とした評価型の融資商品となります。

この度、インフロニア・ホールディングス株式会社（代表執行役社長 岐部一誠）は、本商品にてタームローン契約を締結いたしました。

また、MUFG ESG 評価にて、最高評価「S ランク/業界をリードする ESG 経営」を取得しました。

インフロニア・ホールディングス株式会社は、「インフラサービスを取り巻く社会課題の解決に取り組み、自社の成長と企業価値向上に努め、良質なインフラサービスの提供と、その社会的価値向上を図り社会に貢献する企業」（総合インフラサービス業）を目指しております。

【高く評価を受けた ESG に関する取り組み】

- ✓ 環境側面（E）では、2030年度および2050年度のCO2削減/再生可能エネルギー調達目標や2025年度までの排出削減計画を定めている点が評価されました。また、施工の合理化や先進的な建設機械の使用、低炭素燃料の活用、フォームドアスファルト混合物「LEAB」の訴求、再生アスファルト合材や再生路盤材の利用などに取り組んでいる点が高く評価されました。
- ✓ 社会側面（S）では、「国連ビジネスと人権に関する指導原則」に則ったインフロニアグループ人権方針を定めており、全従業員を対象とした人権教育や人権デューデリジェンスの実施、人権への影響に対する予防・軽減策の検討などに取り組んでいる点が評価されました。
- ✓ ガバナンス側面（G）では、全取締役を対象とした第三者機関による自己評価アンケートの実施や独立した指名委員会による取締役の選任を実施している点が評価されました。また、サステナビリティ委員会やリスク管理委員会によるリスク・機会の検討、グループ共通の行動指針である「INFRONEER^（インフロニア・キャレット）」や「腐敗防止ポリシー」の浸透活動などに取り組んでいる点が高く評価されました。

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループは、「MUFG Way」の中で「世界が進むチカラになる。」を存在意義（パーパス）と定め、持続可能な環境・社会の実現に向けて、お客さまをはじめとする全てのステークホルダーの課題解決のための取り組みを進めています。引き続き、お客さまの ESG の取り組みを支援し持続的な成長を後押しすることで、環境・社会課題の解決に貢献してまいります。

以上